

子育て

うるま市の子育て環境

うるま市に生まれてきた子どもたちが、健やかに成長するために、私たちは子育てする環境を整えることが大切と考えております。これまで子育て支援に関する施策を実施、展開しておりますが、支援体制のさらなる拡充に向け、子育てを妊娠期からサポートする仕組みとして、子育て世代の包括支援センターを平成30年10月に開設しました。

また、こども医療費助成の対象を平成29年度から中学卒業までとする年齢拡充を行い、平成30年10月からは、未就学児の窓口無料化を開始するなど、安心して子育てができるまちづくりを進めていきます。

これからはじまる、
あなたとのしあわせ

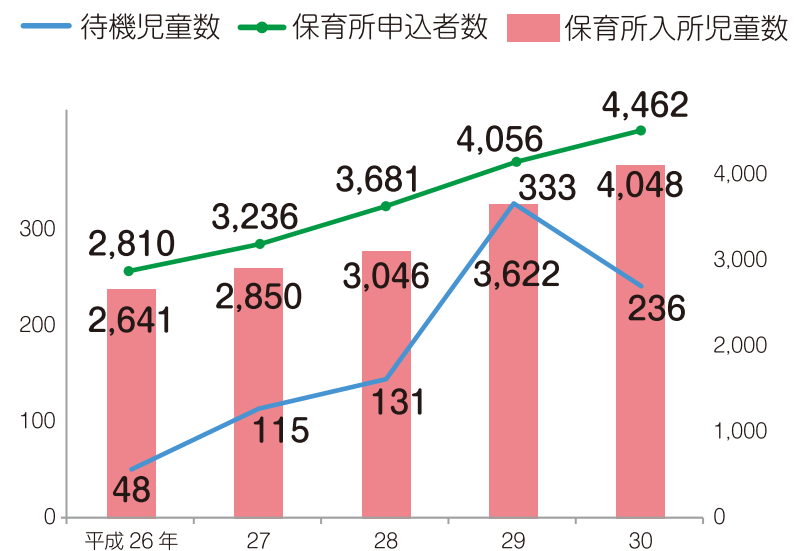


保育所定員 増やします

子育てしやすい社会を目指し、国や地域をあげて、子どもや家庭を支援する新しい支え合いの仕組みづくりを行う「子ども子育て支援新制度」が平成27年4月にスタートしました。

うるま市では、新制度への対応と子育て期の保護者の方への更なるサービス向上のため、平成28年4月に『こども部』を創設し、子どもに関する業務を一元化しました。また、待機児童を解消すべく、平成29年4月には、待機児童対策班を設置し更なる機能強化を図り、保育所等の施設整備を推し進めています。

国の方策として、2019年10月より3～5歳児の幼児教育・保育の無償化が閣議決定されています。本市としても、2020年4月から幼稚園、保育所、認定こども園などの設置により、教育・保育の場の確保に向けてあらゆる施策を推進していきます。

うるま市の保育所申込者数・
入所児童数と待機児童数の推移

【保育所入所児童数について】

平成27年度から平成29年度までの3年間で29保育施設を整備し、保育所定員数は、1,136人の増となりました。また、入所児童数は過去5年間で、1,407人の増となっており、今後、さらに平成31年4月に向けて、790人程度の増員を予定しています。

【待機児童数について】

平成26年の48人から平成30年には236人と増加していますが、主な要因としては、「子ども子育て支援新制度」のスタートにともない、保育所申込者数が増えていることが考えられます。

保育士不足 解消します



国や県の制度を活用した家賃補助事業等のほか、合同求人説明会及び保育園見学ツアーの開催や市独自の潜在保育士向けの補助事業を実施し、安定的な確保に努めていきます。

保育士への宿舍借上援助
(保育士宿舍借上支援事業)

保育士の住むアパート等を保育園が借り上げることで、保育士の家賃負担を軽減または無償化します。平成30年度・31年度の新規採用保育士には、法人負担分を補助する市独自事業を行います。これまで、8保育園において、11名の方が利用しています。

保育士資格取得の支援
(保育士試験受験者支援事業)

市内の認可保育園・認可外保育園に従事し、または従事予定の方を対象に、保育士試験対策講座を開催することにより、保育士資格取得を支援して保育士の新規確保を図ります。これまで、3年間で14名の方が保育士資格を取得しています。

潜在保育士への復職支援
(保育士再就職促進助成事業)

保育士資格を有するが、保育士として勤務していない方の再就職支援として、就職準備費用及び再就職後の経済支援として最大10万円を助成して保育人材の確保を図ります。これまで、7名の方へ助成しています。

